

講義名	中国語資格試験準備 B (GSP生用)			授業形態	
担当教員	関 梅	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	CH1226

主題と概要

この科目は二次次GSP生を対象とします。
 この科目の内容は、中国語の「読む、書く、聞く、話す」の中の「読む、書く」に重点を置き、中国語の読解と作文能力を伸ばしていくことをメインとします。
 この授業では、中国語のHSK（中国語レベル測定試験）4級レベル以上の単語、フレーズの意味を確認しながら、HSKの読解問題を解いていきます。また、学習した文法の知識を使って作文のトレーニングもします。
 この講義を受講することにより、中級中国語以上の長文の内容を理解することができるのと同時に、接続詞を使って作文ができるようになります。
 この講義の目標としては、HSK3級レベル以上の内容を理解でき、一定の難易度のある作文もできることです。

到達目標

HSK 4 級に合格する目標を目指します。
 4 技能に関する到達目標
 聞く：平易な日常会話の内容を聞いて分かり、ある程度の長文の概要を聞いて理解できるようになる。
 話す：自己紹介ができ、短い文の質問と答えができるようになる。
 読む：400字以内の平易な内容の中国語を理解することができるようになる。
 書く：基本文型を応用して、少し難易度のある作文ができるようになる。

提出課題

毎回の授業では、トレーニングの状況を確認するため、トレーニングのプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行います。また、毎週宿題のプリントも配布します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出した課題については、解説しながら受講者の回答の講評を行います。その後受講者に自分の結果について確認をさせます。最後に共通の問題点について重点的に復習をします。

評価の基準

本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。
 具体的な割合は：
 平常点（授業中の受講態度、課題の提出、小テスト）20%
 中間テスト30%、期末テスト50%
 以上の記載については初回の講義の際に、教室で詳しい説明を行います。

履修にあたっての注意・助言他

HSK試験3級以上を目指すには、授業外での努力は欠かせないため、毎回の宿題としての課題を真剣に取り組むことが大切です。

教科書

.教科書を使用しない。

参考図書

.なし。

その他	
-----	--

授業計画

1. HSK4級 筆記問題(空欄埋め)	
予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目1-3を予習し、例文をすべて訳すこと	(100分)
復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目1-3の課題を完成すること	(140分)
2. HSK4級 筆記問題(空欄埋め)	
予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目4-6を予習し、例文をすべて訳すこと	(100分)
復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目4-6の課題を完成すること	(140分)
3. HSK4級 筆記問題(空欄埋め)	
予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目7-9を予習し、例文をすべて訳すこと	(100分)
復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目7-9の課題を完成すること	(140分)
4. HSK4級 筆記問題(空並び替え問題)	
予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目10-12を予習し、例文をすべて訳すこと	(100分)
復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目10-12の課題を完成すること	(140分)
5. HSK4級 筆記問題(空並び替え問題)	
予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目13-15を予習し、例文をすべて訳すこと	(100分)
復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目13-15の課題を完成すること	(140分)
6. HSK4級 筆記問題(空並び替え問題)	
予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目16-18を予習し、例文をすべて訳すこと	(100分)
復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目16-18の課題を完成すること	(140分)
7. HSK4級試験問題(半復習・テスト)	
予習内容：4級レベルの単語 を習得状況を確認すること、文法項目1-12を復習すること	(100分)
復習内容：テストの単語の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目1-12のテスト問題を見直し、課題を完成すること	(140分)
8. HSK4級 筆記問題(長文)	
予習内容：4級レベルのすべての単語を自習すること、筆記問題の長文を理解し、日本語に訳すこと	(120分)
復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、長文の課題を完成すること	(120分)
9. HSK4級 筆記問題(長文)	
予習内容：4級レベルのすべての単語を自習すること、筆記問題の長文を理解し、日本語に訳すこと	(120分)
復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、長文の課題を完成すること	(120分)
10. HSK4級 筆記問題(長文)	
予習内容：4級レベルのすべての単語を自習すること、筆記問題の長文を理解し、日本語に訳すこと	(120分)
復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、作文の課題を完成すること	(120分)
11. HSK4級 筆記問題(短文)	
予習内容：4級レベルのすべての単語を自習すること、筆記問題の作文課題を完成すること	(120分)
復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、筆記問題の総合課題を完成すること	(120分)
12. HSK4級 筆記問題(短文)	
予習内容：HSK4級レベルの単語の習得を確認すること、筆記問題の総合課題を完成すること	(120分)
復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、課題を完成してキャンパスクロスに提出すること	(120分)
13. HSK4級 筆記問題(作文)	
予習内容：HSK4級レベルの単語の習得を確認すること、筆記問題の総合課題を完成すること	(120分)
復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、課題を完成してキャンパスクロスに提出すること	(120分)
14. HSK4級 筆記問題(作文)	
予習内容：HSK4級レベルの単語の習得を確認すること、筆記問題の総合課題を完成すること	(120分)
復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、課題を完成してキャンパスクロスに提出すること	(120分)
15. HSK4級 筆記問題(作文)	
予習内容：HSK4級レベルの単語の習得を確認すること、筆記問題の総合課題を完成すること	(120分)
復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、課題を完成してキャンパスクロスに提出すること	(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	<input type="checkbox"/>	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」、資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にIT活用をし、グループ学習の形式で授業を進めていきます。
 教室に備えているプロジェクターを使用し、音声はiPadとコードレススピーカーを使用します。
 文法説明や課題の答え合わせなどについてはすべてBigpadやプロジェクターで行います。
 また、QuizletやWhootなどのアプリケーションを利用して検定問題の単語及び文法についての習得状況の確認を行います。

実務経験の有無及び活用

備考

受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整します。